

第百七十二回中日レディーズサロン(中日新聞東海本社主催)が十二日、浜松市中区のホテルコンコルド浜松で開かれ、俳優の辰巳琢郎さんが「道草のすすめ」と題して講演した。好きな旅と人生をなぞらえて「決められた道から少し外れたところにも、素晴らしい人との出会いや景色が待っている」と持論を述べた。

第172回中日レディーズサロン

辰巳 琢郎さん

俳優



たつみ・たくろう 京都大文学部を卒業と同時にNHKの朝の連続ドラマで全国デビュー。俳優だけでなく幅広いジャンルで活躍中で、「辰巳琢郎の葡萄酒浪漫」など長寿テレビ番組の企画、出演も続けている。近畿大文学部客員教授、観光庁アドバイザー、日本ワインを愛する会副会長。

道草で素晴らしい人生を

毎年、欧州にワイン産地などを訪ねる旅を企画し、参加者を公募している。昨

た。情報化時代で世界の映像が見られるが、日差しの強さや風のおいなどは、やはり現地に行かなくては分からない。

高校二年のとき、大阪で劇作家つかこうへいさんの舞台を見て衝撃を受けた。したいことが見つかった。

大学には七年間もいて、劇団活動に夢中になったが、役者よりも裏方の仕事が好きで、演出やプロデュースに打ち込んだ。劇団の中では、芝居にこだわってけんかもしたが、楽しい青春だった。

新聞の募集記事を偶然目にし、NHKのテレビ小説「ロマンス」の主役オーディションを受けて合格したときは二十五歳になっていた。劇団の外の空気を吸ってみたい気持ちもあった。今の自分があるのは、アマチュア劇団で過ごした貴重な時間のおかげだと思っている。

◇

次回は十一月二十日作家の青木奈緒さんを講師に招く予定。